

# 丸子地域自治センター

## 令和4年度 重点目標

- 1 人と環境に優しい安全・安心なまちづくりの推進
- 2 地域特性を活かした振興政策の推進（ワイン振興事業・産業基盤整備）
- 3 木曾義仲など地域資源を活用した参加と協働によるまちづくり
- 4 新たな旅行スタイルを採り入れた丸子温泉郷の振興

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	人と環境に優しい安全・安心なまちづくりの推進			部局名	丸子地域自治センター	優先順位	1位		
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 第1章 豊かな環境を未来につなぐ 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第2節 循環型社会形成の推進 第3節 安全・安心に暮らせる環境の整備			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる				
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ウ市有財産の適切な管理と利活用								
現況・課題	交通量の多い通学路の歩道整備や安全確保に向けた道路整備と合わせ国庫補助事業の制度に基づき、地域の貴重な観光資源である千曲川等の河川を活用した魅力創出のための河川空間の整備事業、治水対策を目的とした河川整備事業による安全・安心なまちづくりを推進する必要があります。また公共交通については、交通弱者に対し利便性の向上や持続可能な交通システムの構築が望まれています。循環型社会形成が求められる中において、家庭や事業所における環境負荷低減に向けた取り組みとして、ごみの発生抑制・再使用を優先したライフスタイルへの転換をはじめとし、プラスチックごみ等の適正な分別による再資源化の推進など、ごみの減量・再資源化が大きな課題となっています。								
目的・効果	道路や歩道、河川の整備により、歩行者の安全確保や内水対策と水辺環境整備の充実が図られます。また地域に適した持続可能な公共交通システムの構築により利便性と安心・安全で住みやすいまちづくりにつながります。「第二次上田市総合計画（後期まちづくり計画）第2編 自然・生活環境 安全安心な快適環境のまちづくり」に掲げる施策等を推進し、持続的な発展が可能となる循環型社会形成が具現化されます。			該当するSDGsの目標					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）				
①	【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】 (1) かわまちづくり事業 設備工事ほか	(1) 9月	(1) 工事発注及び民間事業者からの意見聴取	(1) 設備工事ほか発注準備中（発注10月初旬入札） サウンディング型市場調査実施（10月公表予定）	(1) 工事発注（繰越） サウンディング型市場調査実施（3月29日公表）				
②	【安全性・利便性向上のための道路整備】 (1) [都市再編事業]箱置線道路改良事業 (2) [都市再編事業]上丸子石井線道路改良事業 (3) [公安]金井線道路改良事業	(1) 3月 12月末 (2) 12月末 9月 9月 (3) 3月	(1) 用地買収 4件・補償 5件 工事発注 L=180m (2) 工事完成 バスシェルター発注 案内看板委託発注 (3) 用地 2件・補償 1件	(1) 用地2件、補償2件交渉中 工事発注の協議中 (2) 工事施工中 バスシェルター工事施工中 業務委託発注の協議中 (3) 用地・補償対象者と交渉中	(1) 用地2件、補償2件完了 工事発注済 (2) 工事完了 バスシェルター完了 業務委託発注は、令和5年度へ変更 (3) 用地・補償対象者と契約凍結				
③	【地域公共交通の利便性向上に向けた取り組み】 (1) 丸子・武石地区 公共交通再編検討（循環バス：まりんこ号）	(1) 3月	(1) 運行システムを検討・推進し、令和5年度からの実証運行に向け準備・調整	(1) 令和5年度中のデマンド交通化に向け準備、調整中	(1) 令和5年10月からのデマンド交通化に向け準備、調整中（令和5年度予算化）				
④	【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】 （長野県実施事業） (1) 国道254号（虚空蔵工区・反り工区・平井）バイパス (2) 荻窪丸子線（下和子バスレーン設置） (3) 丸子信州新線	(1) 4月～3月 (2) 10月 (3) 4月～3月	(1) 虚空蔵（反り）工区一詳細設計発注 平井工区一3件用地買収 (2) 工事発注 (3) 地権者説明会及び地形測量発注	(1) 虚空蔵（反り）工区一詳細設計発注準備中 平井工区一2件用地買収済 (2) 工事発注（11月入札） (3) 測量・設計実施中	(1) 虚空蔵（反り）工区一詳細設計発注 平井工区一用地買収完了 (2) 工事発注（繰越） (3) 測量・設計完了				
⑤	【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】 (1) ごみ分別の徹底と生ごみ減量化施策の啓発 (2) 容器リサイクル法に基づくプラごみの適正分別の周知	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) ごみ出しカレンダー等による周知 (2) プラごみの未回収件数対前年度比5%削減	(1) 適正なごみの分別について等の広報 丸子地域ゴミの出し方カレンダー全戸配布 (2) プラごみ未回収件数 9月末現在 393件 前年度297件（前年同期比32%増） 悪質なごみ集積所に警告等掲示看板設置（12箇所）	(1) 適正なごみの分別について等の広報 ・丸子地域ゴミの出し方カレンダー全戸配布 ・古着回収実施（11/23・丸子文化会館 1,030kg） (2) プラごみ未回収件数 年間件数 R4 592件 /R3 562件 対前年度比5.3%増 ・悪質なごみ集積所に警告等掲示看板設置 年間17箇所				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題					

重点目標	地域特性を活かした振興施策の推進（ワイン振興事業・産業基盤整備）		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	2位	
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第1章 次世代へつなぐ農林水産業の振興 第2節 農林業の安定的な生産体制の整備と地域化の促進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	日本を代表する循環型社会をつくる DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 (3) 時代に即した行政運営への改革						
現況・課題	上田市初のワイナリーとなる「梔子ワイナリー」は、地域の新たな魅力や経済的な効果を生み出し、また、キリンググループとのワイン産業振興を軸にした地域活性化に関する包括連携協定に基づき、ワイン産業の活性化やワイン文化の醸成を通じて、地域産業や観光振興の発展が期待されています。平井寺トンネルや三才山トンネルが無料化され交通量が増大している国道254号沿線は、道路利用者の休息機能や情報発信機能及び有事での待避所（防災等の拠点）の設置と、それに合わせて、上田地域の特産物（農産物やお土産）を効率的に販売・PRする場の整備が求められています。陣場畜産団地豚舎周辺は、有機物リサイクル施設の整備が進むことから、観光振興・環境配慮のための整備が求められています。優良農地である、上長瀬・下丸子地区は農業基盤が未整備であり、作業性の悪さや農業従事者の高齢化などにより、年々耕作放棄地が増える一方で、交通アクセスの良さから、工業関係者から新たな産業団地の整備が求められています。また、中山間地区においては、農業基盤の老朽化への対応が求められています。						
目的・効果	梔子ワイナリーや西洋梨6次産業産地化プロジェクトを中心とした地域農業及び経済の活性化 道の駅の整備により、交通災害や環境悪化の緩和、直売所設置することで地域産業の活性化及び地元観光情報の発信強化 陣場畜産団地豚舎周辺の景観配慮と畜産振興、遊歩道・展望台・多目的広場整備による新たな魅力づくりと観光振興 農業生産基盤整備未整備地区における農地集約と産業団地の整備 中山間地域における農業基盤整備による地域農業経営の安定化		該当するSDGsの目標				
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① 【地域特性を活かしたワイン産業と農業の振興の推進】 (1) キリンググループとの包括連携協定に基づいたワイン産業の振興  (2) 梔子ワイナリーと地域との共生推進  (3) 地域の6次産業化の推進	(1) 4月～3月  (2) 4月～3月  (3) 4月～3月	(1) 地域活性化戦略を描ける職員の育成 研修の実施（6回） ② 地域リーダー等の発掘・育成に向けた講座等実施（5回） ③ 上田ワインプロジェクト事業の円滑な実施及び会議開催（30回）  (2) ① 共同会議を随時開催 ② ワイン振興セミナーの開催（3回） ③ 梔子マルシェへの誘客促進 ④ 梔子マルシェへの地元団体等参加支援（延べ20団体）  (3) ① 西洋梨産地化プロジェクト事業の販売出展及び販路の新規開拓	(1) ① 夜中の収穫体験研修を2回実施（9/16、9/28） ② 地域リーダー発掘ワインビジネススクール「上田ワインビジネスラボ」を4回開講、14名の参加 ③ 上田ワインプロジェクトコア会議を11回開催して進捗状況の確認  (2) ① 陣場台地研究委員会幹事会・役員会に併せて4回開催 ② 開催に向けて準備中 ③ 梔子マルシェに併せて2回実施、延べ来場者915人 ④ 梔子マルシェへの地元団体等参加支援、延べ14団体  (3) ① 梔子マルシェとオーロラ祭りに併せて、西洋梨ジャム「まるこの夢」を販売促進を3回実施		(1) ① 夜中の収穫体験研修を2回実施（9/16、9/28）、上田駅イベントを実施（10/29、30） ② ②地域リーダー発掘ワインビジネススクール「上田ワインビジネスラボ」を5回開講、14名の参加 ③ 上田ワインプロジェクトコア会議を21回開催して進捗状況の確認  (2) ① 陣場台地研究委員会幹事会・役員会に併せて7回開催 ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施 ③ 梔子マルシェに併せて3回実施、延べ来場者2315人 ④ 梔子マルシェへの地元団体等参加支援、延べ21団体  (3) ① 梔子マルシェとオーロラ祭りに併せて、西洋梨ジャム「まるこの夢」を販売促進を4回実施		
② 【道の駅整備事業】 (1) 開設準備に向けた組織づくり (2) 基礎調査及び基本計画の策定  (3) 関連事業の推進	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 運営候補者の検討推進 (2) 現況・用地測量の実施 基本設計の実施 (3) インフラ整備の検討・実施	(1) サウンディング型市場調査提案者との懇談を5回開催 (2) 用地測量・基本設計の検討 (3) 上下水道管の整備の検討		(1) サウンディング型市場調査提案者との懇談を6回開催 (2) 候補地の選定 (3) 上下水道管の整備の予算計上		
③ 【陣場台地周辺環境整備】 (1) 有機物リサイクル施設建設の検討推進と陣場台地の環境整備及び地域振興事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 地元自治会等の意見集約及び地域振興事業の検討	(1) 陣場地区有機物リサイクル施設調整会議を3回開催 陣場台地周辺牧草地整備の地権者説明会等を2回開催 陣場台地周辺牧草地整備の測量業務委託の入札準備中		(1) 陣場地区有機物リサイクル施設調整会議を8回開催 陣場台地周辺牧草地整備の地権者説明会等を3回開催 陣場台地周辺牧草地整備の測量業務委託の完了		
④ 【農地集積推進による持続可能な農業・工業の環境整備】 (1) 上長瀬・下丸子地区の農地集積及び産業団地整備の推進	(1) 4月～3月	(1) 地権者の意向確認及び事業原案の作成	(1) 地権者の意向確認をするために不動産鑑定評価を実施		(1) 地権者の意向確認をするために不動産鑑定評価を実施		

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
⑤	【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】 （1）県営 中山間総合整備事業（美の郷地区）の 事業推進（荻窪を含む10工区）	（1）4月～3月	（1）事業着手した8工区の事業進捗を 推進 新たに2工区の事業着手の実施	（1）2工区（赤岩・裏）が完成 4工区（荻窪・大塩・穴沢・虚空蔵）の工事に着手 2工区（高梨・下和子）の用地補償協議を継続中 新規2工区（上河原・久保田）は実施に向け調整中	（1）2工区（赤岩・裏）が完成 4工区（荻窪・大塩・穴沢・虚空蔵）は工事実施中。 4工区とも繰越して工事実施。（R5完成予定。） 用地補償協議…高梨は完了、下和子はR5用地買収交渉予定。 上河原・久保田工区は事業実施時期を検討中。
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

<b>重点目標</b>	<b>木曾義仲など地域資源を活用した参加と協働によるまちづくり</b>			<b>部局名</b>	<b>丸子地域自治センター</b>	<b>優先順位</b>	<b>3位</b>
総合計画における 位置付け	第1編 自治・協働・行政 第1章 自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現 第1節 参加と協働による自治の推進			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」 における位置付け	福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革    イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり    エ 広域連携の推進						
現況・課題	地域内分権による地域の自治のさらなる推進を目指し、「丸子まちづくり会議」や地区会議と連携・協働による事業の取組が求められています。4年毎の木曾義仲関連事業においてパートナーシップ協定による市商工会・丸子修学館高校、長野県立大学等が連携し実施する事業について支援します。また、建築後40年経過した自治センターの人にやさしいバリアフリー化整備事業の実施及び設備改修の実施設計について検討を行います。						
目的・効果	丸子まちづくり会議と行政が協働した事業に取組むことにより、地域課題の解決や地域活性化につながります。市民協働による事業の実施により歴史的・文化的遺産の継承につながります。自治センターの人にやさしいバリアフリー化整備事業の実施及び設備改修の実施設計を進めることにより来庁者や地域住民の安心感と地域防災の拠点施設として災害時にも機能が果たせる計画が出来ます。			該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	【市民協働による地域資源等を活用した事業の実施及び支援】 (1) 丸子地域ゆかりの武将、木曾義仲公振興事業  (2) 丸子修学館高校と上田市商工会とのパートナーシップ協定に基づく取組み	(1) 4月～3月  (2) 4月～3月	(1) 信州丸子義仲祭りの実施  (2) イベント企画・実施の支援	(1) 春の陣では、信州ルネッサンスのイベント等、夏の陣ではアリオ上田でのイベント等や講座等を実施  (2) パートナーシップ協定及び義仲イヤーの取り組みについて、丸子修学館高校との打合せを実施 上田市商工会では、義仲祭りPR事業で街路灯にペナント掲示等を実施	(1) 秋の陣、木曾義仲拳兵武者行列では、全国から行列参加者や観覧者が訪れキャスト出演もあり盛大に実施、観覧者含め延べ2冬の陣では、義仲イヤー記念講演会や鷹狩りの実演を実施 一年を通して義仲イヤーを実施することにより全国に木曾義仲拳兵の地・信州上田を発信、  (2) げんきまるこ産業フェスタ2022へ参加し学生が作成した作品の展示や「もん」の取組を紹介 来年度の事業に向けた打合せを実施		
②	【地域内分権の確立に向けた取組み】 (1) 丸子まちづくり会議と地域協議会との連携  (2) 住民自治組織の活動周知	(1) 4月～3月  (2) 4月～3月	(1) 住民自治組織活動の情報共有  (2) たよりの発行・配布支援	(1) 公共交通に関する分科会を地域協議会と丸子まちづくり会議との合同会議を2回実施  (2) 丸子まちづくりだよりの発行、配布支援を実施	(1) 合同会議による公共交通に関する分科会から「循環バスからデマンド交通への転換についての提言」の意見書を市へ提出  (2) 丸子まちづくりだよりの発行支援、配布支援		
③	【丸子地域自治センター整備事業】 (1) バリアフリー化整備事業  (2) 設備改修事業	(1) 4月～3月  (2) 4月～3月	(1) バリアフリー工事の完成  (2) 設備改修実施設計の完了	(1) 工事施工業者決定 施工中  (2) 公募型プロポーザルによる実施設計業務委託設計者設定審査会で審査実施中	(1) バリアフリー改修工事概ね工事終了 関係機関との調整に時間を要し4月末まで工事延長  (2) 11月に実施設計業者と契約 現地調査に不測の時間を要したため履行期間を8月末まで延期		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	新たな旅行スタイルを採り入れた丸子温泉郷の振興			部局名	丸子地域自治センター	優先順位	4位
総合計画における 位置付け	第3編 産業・経済 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興			上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」 における位置付け	DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり						
現況・課題	鹿教湯温泉、大塩温泉、霊泉寺温泉からなる丸子温泉郷は、かつて国民保養温泉地として豊かな自然や医療機関との連携などの地域特性を活かし、多くの宿泊客で賑わいましたが、温泉保養事業の終了など、時代の変化により観光客の減少傾向が続いています。こうした状況の中、丸子温泉郷では若い世代の旅館経営者などが中心となった複数のグループが立ち上がり、「地域の活性化」という共通目的の実現に向けた様々な活動継続されています。また、コロナ禍における新たな旅行スタイルへの対応も必要とされており、これらを研究しながらどのように誘客へ結び付けるかが課題となっています。						
目的・効果	「健康の湯」「回復力の湯」として、国民保養温泉地指定の健全な保養地である丸子温泉郷のイメージを大切にしながら、現代のライフスタイルにもあった滞在型観光の魅力をPRし、来客数増加を目指します。コロナ禍における事業者支援事業を検討し、実施します。			該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	【温泉を活かした地域活性化事業の推進】 (1) コロナ禍における新たな旅行スタイルを採り入れた観光支援事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 各地区の支援内容を検討のうえ円滑な事業実施を支援	(1) 市観光誘客促進事業補助金申請支援のため、鹿教湯・霊泉寺の各観光協会（いずれも情報発信強化事業）および上田市商工会（木曾義仲関連事業）の会議等計5回に参加。鹿教湯では感染拡大防止を意識した屋外型イベントの継続実施について協議中。		(1) 鹿教湯・霊泉寺の各観光協会および上田市商工会に係る観光誘客促進事業について、各団体の計画どおりに事業を実施（テレビCM等による情報発信強化、こたつバル（イベント）実施、宿泊割、街路灯用ペナント設置など）	
②	【丸子温泉郷の誘客推進】 (1) 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトマスタープランⅡに基づく取組への参画 (2) 霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトの取組への参画	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 事業内容の検討段階から参画したうえで円滑な事業実施を支援 (2) 事業内容の検討段階から参画したうえで円滑な事業実施を支援	(1) ポールを使ったウォーキングの実施に向けた実行委員会会議（全1回）に参加 (2) 7/23開催のMAD&MUDDYについて企画時に助言等実施。（イベント参加80人。うち宿泊15人）		(1) 「鹿教湯温泉しあわせポールdeアクティブウォーキングフェスタ」の代替事業「かけゆウォークラリーフォトコンテスト」を12/28～1/31まで実施し196件の投稿あり (2) MAD&MUDDYが令和元年度並みの規模で開催。ネイチャートレッキングはコロナ感染拡大防止で中止、クリーンフェスタは開催形態見直しのため当面中止	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			